

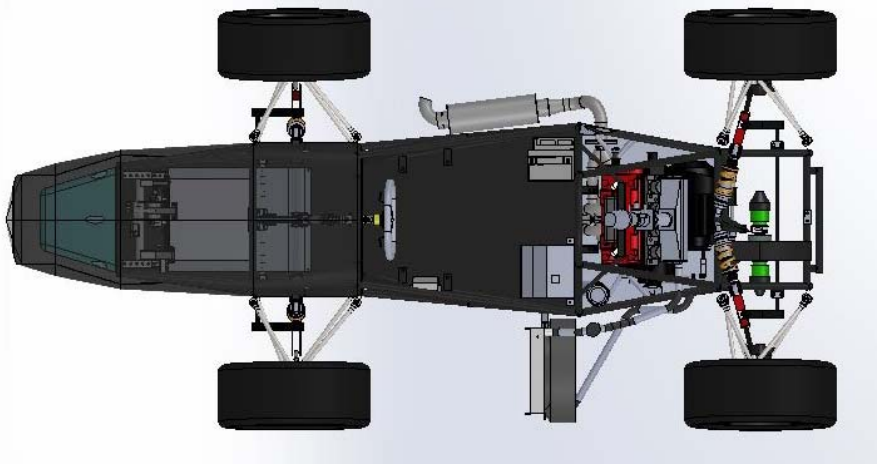


第12回大会を終えて

立命レーシング

RitsumeiRacing

<http://ritsumeiracing.com/>



Presentation プレゼンテーション

マシン名：RF-011

RF-011は速さの追求をメインコンセプトとし、レーシングカーの基本である走行性能と操作性の向上をめざしました。早期シェイクダウンを行い、各パーツの改良を行いました。結果、多くのアップデートパーツを大会までに制作することができました。

旋回性能の向上と加速性能の向上の両立をめざし各パートごとにさらに細かいコンセプトを設け、学生フォーミュラのコースで速く走るためにはどのようなマシンがいいのかを考え、設計を行いました。

昨年度は、電装系の信頼性の低さからテスト走行の時間が短く、十分なデータを取ることができませんでした。そのため、今年度は配線を1から見直し、信頼性が向上しました。昨年度のフレームは、ドライバーがハンドルを切ると肘が当たるという問題がありました。そのため、今年度は操作性向上のため、ドライバースペースを広く取りました。そのため、フレーム単体の重量は増加しましたが、まわりのパーツを大幅に軽量化することにより、昨年度よりも軽くすることができました。リヤサスペンションを昨年度のプルロッド式からプッシュロッド式に変更するなど、車両全体のマスの集中化を行いました。吸排気系は大幅な構造変更を行い、低回転から高回転まで使え、乗りやすい出力特性にしました。

来年度は、エアロダイナミクスを取り入れ、コーナリングマシンをめざします。

Participation report 参戦レポート

今年度は、早期シェイクダウン（3月末）を達成することができ、かなり多くの走行テストを行うことができました。しかし、大会1ヶ月前にミッションブローしたため、大会に対する十分な準備ができませんでした。

初日から車検を受けることができました。1度目は通過することができませんでしたが、その日のうちに再車検を行い、合格することができました。

2日目は、朝からコスト審査、プレゼンテーション、デザイン審査の静的審査を行いつつ、チルト、騒音、ブレーキなどを通過することができました。特にブレーキテストは、ここ数年間一度でクリアすることができなかったのですが、今年度は一度でクリアすることができました。

3日目、午前にはアクセラレーション、スキッドパッド、午後にはオートクロスが行われました。スキッドパッドは、全大学の中、トップで出走し18位を、アクセラレーションは、今年度のベストタイムを出すことができ、11位を獲得することができました。オートクロスは、セッティングが決まらず、33位とAグループに入ることはできませんでした。

4日目、午前中は大雨のため、エンデュランスの出走が午後からとなり、私たちは15時からの走行となりました。路面が乾きつつある状態でタイヤ選択に悩みました。ドライタイヤを選択し、結果的にこの選択は成功でした。ひとりめのドライバーが完走し、ふたりめのドライバーに交代した後、エンジンの再始動ができなくなりました。結果、リタイヤとなってしまいました。

来年度はさらなる上をめざしていきたいです。



今回の総合結果・部門賞

●総合42位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たちRitsumeiRacingは2003年から参戦しており、昨年度はジャンプアップ賞1位を獲得することができました。私たちは、「社会に貢献できる人材の育成」を理念に活動しております。メンバーは学部生で構成されており、学生が主体となってチーム運営、マシンの設計、製作などを行っております。

Team-member チームメンバー

三宅 祥太 (CP)

渡辺 圭子 (FA)、豊田 哲也 (FA)、
上芝 生裕 (FA)、荒井 佳祐、藤田 真嵩、
宮脇 直斗、栄元 恭平、浅野 太志、植松 晃平、
東山 明寛、安平 幸太郎、田中 雅大、大西 徹、
阿部 拓真、赤羽 雄斗、藤井 慎也、川崎 幹也、
中川 恭太、小澤 風馬、川上 航輝、城第 義征、
本山 啓太、丸野 元輝、山本 崇広、山本 大聖、
湊 和樹、山内 拓磨、中堂 誠、杉本 圭一、
村上 明日香、西村 莉奈、松塚 仁嵩、松島 源

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、SolidWorksJapan、ダイハツ工業、
NTN、月の輪自動車教習所、新家工業、和光ケミカル、
琵琶湖スポーツランド、石原ラジエター、
松本金属工業、サンキン、ねじの山崎、バイク工房岩城、
ザム・ジャパン、ウエストレーシングカーズ、協和工業、
ミスミ、FCデザインF.C.C.、キノコニエンタープライズ、
OZジャパン、SOB湖南、テクノオイル・ジャポン、
ケミテック、神戸製鋼所、サンエイ、タマディック